

TEC

SPECIFICATION SHEET

型式 IR-10-35-22

新型3電極ポーラログラフセンサ（RE-22B）標準搭載
 浄水・配水・給水専用 少流量対応型
 無試薬型遊離残留塩素計



測定範囲	: 0 ~ 3.00mg/L(標準)
最小分解能	: 0.01mg/L
測定成分	: 遊離残留塩素
使用流量	: 0.35 ~ 0.85 L/min

本器は浄水・配水・給水専用の遊離残留塩素を連続測定するコストパフォーマンスに優れた残留塩素計です。測定部は、回転式などとは異なり機械的駆動部を有さないシンプルな構造で、最小必要流量は0.35L/minに抑えました。ビーズによる機械的研磨洗浄と連続電気化学洗浄機能を併用することで、電極の汚れも防止でき長期間信頼性が高く安定した測定をお約束します。

特長

①	3電極式ポーラログラフ方式センサ採用のため、検水中の干渉物質や電導度の影響を受けにくく低イオン水や弱アルカリ性などの検水にも対応可能です。
②	ユニークな2つの電極洗浄機構によりセンサの感度劣化を防止します。 洗浄機構1・・・機械駆動部のないビーズ洗浄で電極表面を連続機械研磨洗浄します。 洗浄機構2・・・電気化学洗浄機能により、電極表面の電気化学的汚染を洗浄します。 →これらの洗浄機能により感度低下が起こりにくいため保守頻度が低減します。
③	各種出力信号により濃度制御及び遠隔監視が可能です。
④	サンプル水供給量を従来の約1/5（弊社比）の最小350mL/minで運用できます。
⑤	新開発の低価格・高性能な専用センサ（RE-22B）を標準搭載しました。

【注意事項】

- ★ 本製品のご使用には、取扱説明書等をよくお読みいただき、十分理解した上で設置・運転・保守を行ってください。
- ★ 本製品は、水道水中の遊離残留塩素測定のための機器です。水道水以外の検水には適用できません。
- ★ 本製品を正常に運転するためには、試運転時および点検時にゼロ点校正・スパン校正が必要です。
- ★ 本製品を正常に運転するためには、適切な周期での点検・保守作業が必要です。
- ★ 本製品に使用されているセンサは、消耗品ですので定期的な交換が必要です。

標準仕様

〔構成部品〕

モニタ部	IR-10	1台
フローセル	FC-35	1台
センサ	RE-22B	1本
センサケーブル	CT4S-005N	1本
標準付属品		1式



《一般仕様及びモニタ部》

型式	IR-10	
測定対象	浄水・配水・給水中の遊離残留塩素	
測定原理	3電極式静止型ポーラログラフ法	
測定範囲	0.00~3.00mg/L (標準)	その他の測定範囲は工場出荷オプションです
電極	作用電極	金電極
	比較電極	銀-塩化銀電極
	対電極	白金合金電極
表示	デジタル3桁LCD表示 最小分解能：0.01mg/L	
繰り返し性	フルスケール(標準)の±2%+1デジット(pH、温度、電導度一定時)	
直線性	フルスケール(標準)の±5%(pH、温度、電導度一定時)	
ゼロドリフト	フルスケール(標準)の±1%+1デジット以内/月	
スパンドリフト	フルスケール(標準)の±10%以内/月	
応答時間	約1分以内(90%応答)	
定量下限値	0.05mg/L以下(変動係数10%)	
検水pH範囲	pH5.8~8.6(変動幅1pH以内)	
電導度範囲	5~100mS/m(変動幅10mS/m以内)	
伝送出力	DC4~20mA 絶縁型 最大負荷抵抗 500Ω	
接点信号	上限、下限：各1a 制御出力：1a	
接点容量	AC250V 1A MAX.(抵抗負荷)	
電源	AC85V~250V 50/60Hz	
消費電力	約5VA	
設置方法	壁面取付又は50Aポール取付(オプション)	

《フローセル》

型式	FC-35
検水流量	0.35~0.85L/min
接液材質	PVC、ガラス、シリコンゴム
検水入口	Rc1/4 又はφ6×4チューブ継手
検水出口	内径15mmホース用継手 (内径15mm網入りチューブにて接続)
検水入口圧力	最大0.2MPa
検水耐圧	最大0.5MPa
検水温度範囲	0~40℃(凍結無きこと)

《センサ》

型式	RE-22B
検水温度範囲	0~40℃(凍結無きこと)
温度補償	サーミスタによる自動温度補償
設置方法	FC-35測定槽に取付
洗浄方法	ビーズ機械研磨及び電気化学洗浄

《センサケーブル》

型式	CT4S-005N
ケーブル長	0.5m(コネクタによる脱着方式)

**** 下記までお問い合わせください。 ****

お問い合わせ先

TEC テクノエコー株式会社

〒358-0054 埼玉県入間市野田1241-1

TEL 04-2937-1061 FAX 04-2936-5231

URL <https://www.technoecho.co.jp>

E-MAIL info@technoecho.co.jp

本記載事項は、機器改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2019.7.29